



米山学友会総会

これから世界に飛び立とうとしている米山奨学生と奨学生たちを支えるロータリアン・カウンセラー



ガバナー月信
2012.01.01 Vol.

7

CONTENTS

ガバナーメッセージ 2	クラブ紹介 三条北ロータリークラブ 9
ロータリー理解推進月間 社会奉仕委員会 4	クラブ紹介 三条ロータリークラブ 10
米山学友会総会 5	クラブ紹介 分水ロータリークラブ 11
鈴木ガバナーエレクトで夫妻渡米壮行会 6	新入会員 11
フィリピン・マッチンググラント視察訪問 7	出席報告
クラブ紹介 新発田ロータリークラブ 9	ハイライトよねやま / 文庫通信

石本ガバナー事務所 〒951-8053 新潟市中央区川端町2丁目12 2階 TEL: 025-201-7802

国際ロータリー第 2560 地区 2011-2012 年度ガバナー：石本 隆太郎

ガバナーメッセージ

1 月はロータリー理解推進月間

公式訪問のお礼と、東日本大震災義捐金の報告を兼ねて



ガバナー 石本隆太郎

7 月 19 日の長岡 R C を皮切りにして始まった公式訪問も、12 月 20 日の新潟 R C を最後に、全 57 クラブを無事終了いたしました。公式訪問では、会長、幹事始め、会員の皆様より大変温かく迎えていただき、心から感謝申し上げます。

“車を運転して万一のことがあってはならない！”との周辺からの助言もあり、夏から秋、秋から冬へと移りゆく、越後平野の風景を堪能しながらの、“在来線・男の一人旅!”でした。これまで在来線に乗る機会は余りありませんでしたので、新潟県の広さと交通の不便さを実感しながら、アシスタント・ガバナーからは、駅から会場までの送迎等でもお世話になり、本紙面をお借りして御礼申し上げます。

公式訪問も一段落した 12 月 16 日、東日本大震災義捐金をお届けする為、第 2520 地区（仙台）から、第 2530 地区（郡山）を廻ってまいりました。家内と共に 15 日午後に出発し、途中、飯坂温泉・ホテル聚楽に一泊しました。支配人の話では、飯坂も震度 6 以上の地震にやられ、被害の小さかった 8 階以下の低層階部分だけ補修を済ませ、12 月 1 日から一般客のオープンに漕ぎ付けたとのことで、9 階から 14 階の高層階は、まだ補修も手付かずでありました。

翌朝、気が付いたのですが、ホテルは各県警支援部隊の前線基地も兼ねており、エレベータの中で若い隊員に尋ねたら、南相馬市での 2 週間の勤務を終えて愛知へ帰るとのことで、ロビーは青い戦闘服に身を固めた警察官で一杯でした。到着時は暗くて分かりませんでしたが、駐車場は東海道から四国方面の警察車両が数十台停まっており、仙台に向かう高速でも、福島方面に向かう警視庁ナンバーのパトカーに次々とすれ違いました。地震後 9 ヶ月経た現在も、立退きを命じられた地域では空き巣が横行し、警察官が 24 時間体制で警備に当たっているとのことで、現地に行ってみないと分からないことが多くあることを痛感いたしました。

仙台では、ご出張中の第 2520 地区・菅原一博ガバナーに代わって、充子夫人が鈴木地区代表幹事とともにお出迎え下さり、地区に託されました東日本大震災の義捐金の目録を差し上げてまいりました。その後、郡山市に向い、第 2530 地区・根本一彌ガバナーの会社にお伺いして、石田地区幹事、伊藤地区副幹事、安藤地区大会実行委員会副委員長同席のもと、義捐金の目録を贈呈させていただき、感謝状をいただいてまいりました。

東日本大震災義捐金につきましては、東山直前ガバナー年度からの引き継事業であり、途中、色々と紆余曲折がありましたが、今回をもって全て完了しました。

新たな年が、良い年となりますことを心より祈念いたします。



菅原充子ガバナー夫人

鈴木地区代表幹事



根本一彌ガバナーとスタッフのみなさん

大震災復興から学ぶ社会奉仕の本質

社会奉仕委員会委員長 板東 秀行(長岡東RC)

ロータリーの五大奉仕の中で、「社会奉仕」はそのクラブの所属する地域社会のニーズに因るところが多く、各クラブの特色が現れるものであると言えます。環境保全活動や小会社など社会弱者への支援活動、保健衛生への取り組みなど多種多様です。その中で大切なポイントは、その活動を通じてロータリアン自身の学びになっていること、ロータリークラブの役割が地域にいかに関与されているかということです。

その意味で、今年3月11日に発生した東日本大震災は、私たちに大きな問題提起と試練を与えたものであると言えます。まずは、地震や津波で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたしますと共に、被災された地域の皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。日本のみならず世界のロータリアンが、この大きな悲劇に対していち早く手を差し伸べ、義捐金や復旧活動への支援、あるいはボランティア活動に尽力されたことに対しても敬意を表するものです。

しかし、こういった様々な形の活動に参加することで、私たちの掲げる「社会奉仕」活動が事足りるものではないことを改めて確認したいと思います。私ごとですが11月初めに被災地、釜石市を訪ねました。不幸にも津波で亡くなった友を悼む目的でしたが、大震災の被害復旧には長い時間がかかる実情を目の当たりにしました。また、未だ県内には原発避難者が多数いらっしゃいます。

今、私たちはそれぞれの地域の足元をしっかりと見つめ直し、可能な範囲内ならびに私たち自身の学びという視点を忘れず何ができるのかを考え、息の長い復興支援活動を掲げ実践することを目指して参りましょう。個人やクラブ単独では小さい力ですが、地域でまとまれば大きくなる、そのことも頭に入れてロングランで取り組んで参りましょう。



平成23年学友会総会報告

米山奨学委員会 奨学生・学友委員長 中村 紘一(柏崎中央RC)



去る 12 月 3 日、ANA クラウンプラザホテル新潟において、詹秀娟会長のもと、2560 地区学友会総会が開催されました。石本ガバナーを始め、新保委員長、大橋副委員長、奨学生とカウンセラー、学友会員、そして地区役員の参加を戴きました。

例年学友会員の参加者が少なく、学友の為の総会とは思えない、出席者数で、学友会長も大変困っておられました。学友会員の出席が少ないのは例年のことですが、今年は少し増えました。各ロータリークラブの方々にもお願いして、学友会会員の消息を確認していただいたり、総会に参加の呼びかけを行っていただきました。詹秀娟 会長自ら学友に声掛け合い、ガバナー事務局にも応援をしてもらい、学友会会員に参加の呼びかけにより一昨年よりも昨年、昨年よりも今年、少しずつではありますが、参加者が増えました。学友会理事の方たちも「名簿の整備などは、自分たちで行いたい」と申し出があり、これからの学友会を盛り上げて戴けることと思います。

総会終了後はお待ちかねの親睦会です。この親睦会が、学友会員にとって大切な情報交換の場所であることを認識している学友会員が少ないような気がします、卒業後、ロータリアンと気軽に話し合えるのはこの場しかないからです。日頃、ロータリ関係の方々に大変なお力添えを受けていますが、ロータリー米山委員・カウンセラーの方々からの手助けがこれからも必要かと思ひます。

袖振り合うも多生の縁と申しますが、カウンセラーの方が 1 年、2 年と積み上げてきた親交を無駄にしないようにしたいと思います。これからも、益々学友会が発展するようぜひご協力お願い致します。



鈴木重壺ガバナーエレクトご夫妻渡米壮行会

地区副幹事 外山 範茂(長岡RC)



12月10日(土)長岡市の長岡グランドホテルにおいて、鈴木重壺ガバナーエレクトご夫妻渡米壮行会が行われました。

これに先立って、鈴木年度第1回地区運営会議が47名の出席のもと行われ、鈴木重壺ガバナーエレクトより2012-2013年地区運営方針について発表がありました。

鈴木年度の基本姿勢は、「恕を以って和を為す」です。ロータリーの友情は互いに思いやり慈しみあう「恕」にあると考えます。それは、人間が本来最も大切に心掛けねばならない精神だと思います。自然と共生してきた日本人の真骨頂です。日本文化の

源泉です。われわれは、この精神を共有し取り巻くあらゆるストレスや困難に凜とした心で立ち向かって行こうではありませんか。「恕を以って和を為す」の思いでやりましょう。

また、鈴木年度の運営概要についての説明や今後の予定等の話があり、鈴木ガバナーエレクトの思いと意気込みが出席者全員にひしひしと伝わり、次年度に向け動きだしました。これと並行して地区諮問委員会が開かれました。

このあと、壮行会が行われ、石本隆太郎ガバナー、パストガバナーの皆さま、各委員の皆さま出席のもと、改めて鈴木重壺ガバナーエレクトの決意表明があり、なごやかな中にも盛会裡に行われました。



フィリピン 3800 地区マッチング・グラント協議会

ロータリー財団委員会 マッチンググラント委員長 高橋 茂男(柏崎中央RC)

今回、財団月間である 11 月 27 日(日)から 30 日(水)にフィリピン 3800 地区への訪問をしてまいりました。

ロータリー財団は 2013 年から移行する「未来の夢計画」の中で、2560 地区で人道的事業が出来ないものか、植木年度から計画、検討してきました。

そのような中、中條耕二財団委員長の同期ガバナー、ジミー・ディさんがいるフィリピンの 3800 地区にどのような協力出来るか検討してきました。

そして昨年 5 月にリクエストがあり、MG12 事業、WC S20 事業が提案され、その中からの 1 つであるマラボン・ハイランドの成人の識字率向上のプロジェクトを、東山年度で計画しようと支援を決め進めてきた事業でありまして、R I 本部で今年の 1 月に採択、決定したプロジェクトです。

マッチング・グラント #73981 の内容は DDF の 9,000 ドルを使うとともに、R I 本部の同額 WF 11,100 ドルを使用し、総額 22,300 ドルの事業となりました。

今年の春にフィリピンの 3800 地区へ訪問し、マッチング・グラント協議会と国際奉仕委員会で進めていた、「子ども靴の提供事業」の確認をすることにしていましたが、東日本大震災で延期になってしまいました。

このような経過の中、今回中條財団委員長と水上副委員長を含め 5 名で訪問してきました。事業の内容ですが、

- 1) マラボンハイランドクラブとの MG 協議会。
- 2) マラボンクラブへ靴 1,100 足、車いす 1 台。
- 3) WC S の授与 (2,000 ドル 2 セット)。

ホテル内で直前ガバナー、ファルカンさん
パストガバナー、ジミーさんを含む 5 名とマッチング・グラント協議会を行いました。



「識字率向上プロジェクト」調印式であいさつする中條耕二団長(右奥)
＝首都圏マカティ市内のホテルで28日午前10時ごろ写す

識字プロジェクトを支援
新潟県のロータリークラブ

字率向上プロジェクトに調印した。事業額は約2万2千ドル。

同プロジェクトは2012年5月までの1年間の日程で今年4月にスタート。幼児や児童を抱えながら、フィリピン語の文字の読み書きが困難な親たちを支援し、1カ月に4回の授業を行う。調印式に参加した新潟県RCと首都圏RC各5人は同日午後、マラボンの公立幼稚園を視察した。同県RC団長の中條耕二さんは、「親の教育をしていくことで、貧困から抜け出せる」と信じていると述べた。

新潟県RCは今回、首都圏RCや別の比RCに、車いす1台とパソコン5台、学校給食100日分の費用を贈呈。また今年に入ってから、子供用の中古靴、約1200足を首都圏RCに贈っている。

調印式は今年6月に予定されていたが、東日本大震災の影響で延期された。

マニラ新聞配達区域外にお住まいの方は、ホームページのご購読をおすすめします。
年額5時からマニラ新聞1面の全文を読むことができ、過去記事の検索・閲覧も可能です。
1ヶ月PL0006が月毎の契約です。より。
詳細はホームページ上の「Webでのニュース購読」をクリックしてください。
<http://manila-shimbun.com> 日刊マニラ新聞

毎朝食卓で“フィリピン”が読める日
【代表】 ☎890-4546, 890-4745 Fax. 890-3640 【広告部】 ☎890-5490 Telefax. 895-4245
【編集部】 ☎895-3663, 890-3699 Fax. 890-4395 【顧客サービス】 ☎895-4159 【セ

マラボン・ハイランドR Cへ移動、直前会長ポールさん、会長ロミオさんのもとマッチング・グラント協議会を行い、ウィリアム・チュワさんからMGのプレゼンをスライドで受けました。

そしてポールさんから、親にお金を配るのではなく、親(成人)の識字率を向上させ、集会や家族でのコミュニティーの中で子どもたちが向上心を持ち、貧困から抜けだせるのではないかと感謝のことばがありました。



その後マラボンR Cに移動。会場には6月に訪問して子ども靴を贈呈する予定でしたが、その後に変更となり、船便で本田麗子さんが送った子ども靴1,100足の贈呈式が7月1日と8月8日の2回マラボンR Cが事前に行い、その様子のスライドが放映されていました。

そして今回持って行った子ども靴180足と車いす1台の贈呈式を行いました。

この事業は本田さんと柏崎東R Cと新潟産業大学附属高校(インターアクト)による国際奉仕であります。



R I 3800 地区ラフィガバナーへ石本ガバナーからの親書とWC S贈呈。

WC S贈呈式にはガバナー・エレクト、ミリオさんとパストガバナー5名、直前会長、会長、幹事15名の参加のもと盛大に行なわれ。ラフィガバナーから日本語で「どーもありがとうございます」の感謝の表明がありました。

- 1) メイリザール・ミッド・イーストR Cに100食100日分、給食プログラム。
- 2) ノースベイR Cにコンピューター5台。



財団の標語は、「世界で良い事をしよう」です。フィリピンで良い事ができたのでは。

また今回の訪問に対し、連絡窓口の直前ガバナーのファルカンさんとの連絡と、現地で通訳を担当された高田R Cのチャールズ・C・ストラットンさんに感謝申し上げます。

卓話から始まった「新潟いのちの電話」支援活動

新発田ロータリークラブ 篠田 昇



し、期せずして会員の中から支援組織を立ち上げようとの声が上がった。

それから半年、新発田クラブのみならず、新発田中央、村上岩船、水原クラブの方々等にも呼び掛け、平成 20 年 10 月に「新潟いのちの電話後援会下越支部」を設立した。

活動は、相談電話（転送）の設置、講演会開催、いのちの電話の広報・支援活動等である。また新発田市議会に自殺防止条例制定の誓願を行った結果、『新発田市民の絆を深め「いのち」を守る条例』が制定され、官民挙げての自殺対策に道を開くことができた。

その間において、新発田クラブからは転送電話代等の資金援助、新発田中央クラブからは 2 年連続で活動支援チャリティゴルフ大会を開催していただき多額のご寄付を頂戴した。

振り返って、ロータリーの卓話から始まった活動で多くの友情と学びを得たことを感謝している。

社会奉仕事業「子育て講演会」 「石川遼はこんな環境で育った」

三条北ロータリークラブ 社会奉仕委員長 金子太一郎



当クラブは創立以来毎年、青少年育成に関わる事業を実施しています。今年度はプロゴルファー石川遼選手の父「石川勝美氏」を講師として講演会を企画。平成 23 年 11 月 8 日 18:30～ハミングプラザVIPグランドホールにて一般市民 800 名を無料招待し開催。

若干 19 才の石川遼選手はこの度の東北地震で被災された地域への獲得賞金の寄付をするといち早く発表しましたが、この発言により被災者が勇気づけられた事はもちろんですが、我々ロータリアンとしても学ぶべき姿であると言えます。

このような若者を育て上げた石川勝美氏の講演は喘息だった遼選手の子供の頃の話からゴルフに興味を持ちプロとなるまでのプロセスをユーモアを交えながら話され会場からは笑え声や感嘆の声が上がっておりました。石川氏の教育方針は子育て中の親御さん達には一つの道標となり勇気を与えたことと思います。

又来場頂いた方々に呼びかけた、チャリティー募金に 205,573 円のご協力を頂きました。これは三条市の 7・29 水害被害への義援金として 12 月 19 日に国定三条市長に届けました。



「台湾・新竹城中ロータリークラブ訪問報告」



三条ロータリークラブ 国際奉仕・友好クラブ委員長 佐野 勝榮

11月23～26日、台湾・新竹城中 RC へ山田会長を始め、一行13名で訪問して来ました。台北の空港には新竹城中 RC 会長彰昇志さん、土城 RC 洪俊傑さんら7名程のお迎えがあり、いつもながらの熱烈歓迎で、私共一同感激至極でありました。

当クラブの訪問は今回で5度目となり、最初の訪問(2004年3月)から互いに隔年おきに訪問しております。今年は新竹城中 RC が4月の桜が咲く時期に来日する予定でしたが、東日本大震災により急遽取り止めました。新竹城中 RC からは107万2千

円の義援金が寄せられ、去る5月9日、福島県からの被災者を受け入れている三条市へ新竹城中 RC の善意を伝え届けました。従って、今回は義援金の御礼に訪問しました。同時に、2006年3月に1回目の調印を行ってから、2012年3月で6年になり、3年毎に行う姉妹クラブの締結調印式も行いました。

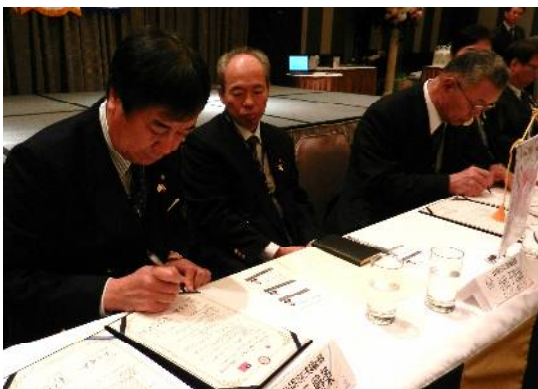
夕刻6時より新竹城中 RC 例会が始まり、当クラブ山田会長より義援金の御礼と日本は安全である事、そして末永く姉妹クラブの絆をと挨拶されました。私も国際奉仕・友好クラブ委員長の立場から姉妹クラブ締結文書第4条に記載されている様に両クラブの友情を深め、世界社会奉仕(WCS)を計るものとする。本姉妹クラブの最終目標として優れた国際奉仕の達成を推進しましょう！来年の来日を楽しみにしています。ぜひお越しください！新潟の酒、魚、米をたんと召し上がってください。それでは皆様に感謝！シェ！シェ！と述べました。

ここで、新竹城中 RC を紹介します。2013年3月29日で創立20周年を迎えるクラブで、会員数は40名に満たないですが、平均年齢が40歳程のエネルギーで若い集団です。当クラブの創立50周年記念式典の時も奥様、子供連れで33名も大挙してお祝いに駆けつけてくれました。台湾のクラブはどこも毎年周年行事を行っており、殆どが家族連れであり、ロータクト(殆どが地元大学生)も参加し、奥様方もダンスを披露するなど賑やかに楽しんでおります。

続いて新竹市を簡単に紹介します。台湾島の北西部に位置し、人口40万人の都市です。ビーフン(米粉)で有名な所で、新竹テクノパークは世界の名だたる企業が進出して、台湾のシリコンバレーと言われるほどのテクノ工業団地です。ここに勤務する従業員は約12万人で、このテクノ工業団地の工業出荷高は3兆5千億円(日本円で換算)で台湾国のGDPの5%を占めると言う事です。台湾国のGDPは70兆円程で、日本の2009年度GDP566兆円には遠く及ばないものの、台湾島の国土面積は九州の面積42,000km²の一回り小さい35,980km²であり、日本国土の10分の1です。日本と比較するのは無理があります。しかし、このテクノ団地だけでこれだけの売上げをするのは驚きでした。また、精華大学、交通大学などの名門国立大学が隣接し、海外の帰国子女の為の特別実験中学があり、エリート養成の為に台湾国内の中学校とは違うカリキュラムで構成されてネイティブな英語で授業が進められ大変充実した教育環境です。

2日目は、夕刻まで台北の陶芸街を散策、故宮博物館を見学しました。その後、台北空港より国内線で花蓮へ向かいました。

翌日は太魯閣峡谷の観光です。侵食によってできた大理石の奇岩怪石がおおよそ20kmにわたって続く溪谷で両側高さ600m程の断崖絶壁で圧倒される景観でありました。その後大理石工場、アミ族の踊りや



アミ族の結婚式などを見学しました。その後特急電車にて夕刻台北へ戻り、新竹城中 RC メンバー、洪さん達に最後の夜の晩餐会に海鮮料理をご馳走になりました。

台北市内1番の店と言われ、特に北京ダックでなく「香港ダック」は大変おいしく皆さんも声を上げ、これはおいしい！おいしい！と連呼しておりました。訪問時と後夜祭と、新竹城中 RC の皆さん並び洪さんには至り尽くせりで大変お世話になりました。

来年9月の来日の節は、とてもとてもこの様なおもてなしは出来ませんが、精一杯おもてなしの気持ちを表し、熱烈！歓迎したいと思います。

クリスマス家族大会

分水ロータリークラブ クラブ会報・雑誌・広報委員会委員長 山崎 儀信

去る12月13日(火)に恒例のクリスマス家族大会が、会員24名家族49名(内子供20名)の計73名で、山田会員の「割烹やま友」で開催されました。子供は楽しく遊び、奥様方同士は話に花が咲き、アンサンブル・スワンによる(バイオリン、チェロ、ピアノの三重奏)クリスマスソングの演奏会もあり楽しいクリスマスパーティーとなりました。

又、家の中で眠っている宝物を提供していただき、チャリティーオークションも開催され、大変賑やかな中、お酒の力もプ

ラスされ、盛大に盛り上がり、全ての宝物が短時間に完売致しました。その売上金は分水中学校PTA開催の講演会の準備金にする予定になっています。

私も家内と一緒に参加させて頂き、幾つかの宝物をゲットすることが出来ました。親睦家族委員会の皆様には心より感謝申し上げます。



新 入 会 員

松田 祐樹

新発田城南 RC

入会日:2011年12月1日

会社名:NPO 法人 地域と共に暮らす会

役職:代表理事

職業分類:介護福祉サービス

井上 裕詞

新潟 RC

入会日:2011年12月13日

会社名:SMBC 日興証券(株)新潟支店

役職:支店長

職業分類:証券業

関川 博

三条 RC

入会日:2011年12月14日

会社名:(株)いすゞ製作所

役職:副社長

職業分類:環境科学機器製造

中林 順一

三条 RC

入会日:2011年12月14日

会社名:(株)中林製作所

役職:代表取締役

職業分類:アウトドア用品製造

五十嵐 誠

長岡西 RC

入会日:2011年12月1日

会社名:(株)ハウジングシステム・トーア

役職:常務取締役

職業分類:木造建設

2012 年 1 月 地区の予定 ～～ロータリー理解推進月間～～

2012 年 1 月		地 区 主 要 行 事	会 場
14	(土)	2012 学年度米山奨学生選考会	チサンホテル&コンファレンスセンター新潟
28	(土)	地区諮問委員会	ホテルイタリア軒

第2560地区 2011-12年度 11月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日 現在	11月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)		86.63	332	339	30	7
新発田	3	98.73	79	81	0	2
村上	3	76.19	35	35	6	0
水原	4	82.10	21	24	1	3
中条	4	82.14	35	35	2	0
新発田城南	3	88.98	44	44	6	0
豊栄	5	84.55	21	22	4	1
新発田中央	5	92.34	46	47	3	1
中条胎内	4	86.61	28	28	4	0
村上岩船	4	88.04	23	23	4	0
第2分区(9クラブ)		80.67	392	416	23	24
新潟	5	87.89	77	87	0	10
新潟東	4	90.37	54	57	5	3
新潟南	4	84.71	71	76	0	5
佐渡	3	67.00	14	15	0	1
新潟西	3	75.00	34	36	1	2
佐渡南	5	86.38	44	45	6	1
新潟北	4	75.68	36	38	0	2
新潟中央	5	82.73	22	22	2	0
新潟万代	4	76.28	40	40	9	0
第3分区(6クラブ)		78.82	148	149	6	1
新津	4	72.00	25	25	0	0
村松	5	92.50	7	8	0	1
五泉	3	87.00	22	22	2	0
白根	3	83.66	49	51	2	2
新津中央	5	77.73	35	33	1	-2
阿賀野川ライン	2	60.00	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)		80.27	372	382	21	10
三条	4	81.36	52	54	0	2
燕	3	71.79	26	26	0	0
加茂	3	73.33	38	40	5	2
三条南	3	91.99	48	49	0	1
分水	4	93.55	32	31	2	-1
見附	3	77.00	16	18	1	2
吉田	4	88.60	37	37	3	0
三条北	4	78.57	66	70	4	4
巻	4	82.10	14	14	0	0
田上あじさい	5	70.66	5	6	1	1
三条東	3	74.07	38	37	5	-1

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日 現在	11月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)		88.81	297	309	27	12
長岡	5	89.86	41	43	2	2
柏崎	4	90.56	44	45	0	1
長岡東	4	91.20	68	68	6	0
柏崎東	4	94.02	43	46	2	3
栃尾	4	80.43	22	23	0	1
長岡西	3	82.91	38	43	5	5
柏崎中央	4	92.68	41	41	12	0
第6分区(6クラブ)		84.59	149	151	9	2
十日町	3	94.00	32	33	0	1
小千谷	3	84.76	33	37	4	4
雪国魚沼	4	76.30	22	21	1	-1
十日町北	4	91.30	25	23	2	-2
津南	4	83.00	25	25	2	0
越後魚沼	5	78.20	12	12	0	0
第7分区(9クラブ)		81.82	319	324	20	5
高田	4	87.97	69	70	1	1
直江津	5	71.69	44	44	2	0
新井	4	84.00	33	35	2	2
糸魚川	3	75.22	36	35	0	-1
妙高高原	3	100.00	6	6	0	0
高田東	4	71.49	36	37	2	1
糸魚川中央	4	73.61	36	36	0	0
頸北	4	90.60	16	16	1	0
越後春日山	3	81.81	43	45	12	2

クラブ数	57	クラブ
7月1日 会員数	2,009	人
11月末 会員数	2,070	人
女性会員数	136	人
純増減会員数	61	人
当月平均出席率	82.93	%



ハイライトよねやま141

1 寄付金速報 — ご支援のお願い —

11月までの寄付金は前年同期と比べて4.5%減、約2,900万円減少の6億800万円となりました。普通寄付金が1.9%減、特別寄付金が5.9%減でした。米山月間の10月は寄付状況に回復傾向がみられたものの、11月は再び伸び悩み、直近10年間では単月・累計額とも、過去最低額となりました。12月は例年、特別寄付金が1年間で最も多く納入される月です。今年も残り半月近くとなりました。奨学事業を継続していくために、今後もご支援賜りますようお願い申し上げます。

2 ガバナーエレクト・次期米山委員長の合同セミナーを開催

2012-13年度ガバナー（ガバナーエレクト）と次期地区米山記念奨学委員長を対象としたセミナーを12月1日・2日、都内で開催しました。1日目は、ガバナーエレクトと次期地区米山委員長の合同セミナーを開催。「今こそ、留学生支援！」をテーマに、講演や卓話、フォーラムを通じて情報の共有を図りました。2日目は、次期地区米山委員長セミナーとして、奨学事業への理解促進と寄付増進に向けたより具体的な取り組みについて、グループ別討議を行いました。師走の到来とともに、次年度の米山奨学事業もスタートを切りました。



1日目はエレクトと次期委員長による合同セミナー



渡辺好政元 RI 理事の講演



すばらしい卓話を披露したオランチゲさんと朴鍾祐さん(2680)



鈴木 PDG (2590)ほかフォーラムの講演者



懇親会では〇×クイズで米山を勉強？



見事優勝したのは 2790 地区の平野氏



策
と頂き
出席の司
2700
氏

実際に役立つと毎年好評の安増氏(2700)



2日目グループディスカッション。各地区の問題点を出し合い、情報や解決策を共有する場に。



3 被災地に住む現役奨学生は今……

東日本大震災から7ヶ月が経った10月、第2520地区（岩手・宮城）、第2530地区（福島）、第2820地区（茨城）に住む現役奨学生58人全員に対し、震災発生時の状況や現在の悩みについてアンケート調査を実施しました（回答数：46人）。被災地区に住む奨学生の声を紹介します。

◆震災後、ロータリーから学んだこと — ロータリアンの前向きな姿、奉仕の精神に学んだとの声多数 —

- ・ロータリアンばかりでなく、全国の国民が復興のため一緒に頑張る姿勢は、自分に大きな影響を与えました。今回の震災で、自分の研究を震災対策に関する研究にしました。これから、安全・安心なまちづくりを目指し、日本の震災復興に力を尽くしたい。（2820）
- ・例会で震災への支援や活動報告、また現地の報告などを聞いて、自分も実際にお手伝いをしたいと思いました。その後、3回ほどボランティアに行ってがれきの片付けやヘドロ掃除をしましたが、本当に被災者の方々は大変だと思いました。また機会があれば今でも行きたいと思います。（2520）
- ・なんで自分がこんな大変な時期に…と思っていました。しかし、カウンセラーと話して考え方が変わりました。明日が来ないかもしれない「今」の大切さ、家族、友人の大切さを改めて感じました。（2530）

◆災害（地震・放射能）への不安 — やはり不安の種は放射能… —

- ・3才の子供がいるので放射線のことが心配です。戸外遊び禁止してないけど、前と比べると時間を短くしたりして、やっぱりちょっと不安です。（2820）

4 より活発な学友会活動を目指して — 韓国学友会総会 —

長らく活動が低調だった韓国米山学友会は2010年5月、体制を一新して再スタート。そして11月19日、新体制となって2回目の総会が、ソウルで開催されました。当日は約30人の学友が参加し、総会では各種報告に加え、新会員を増やすためのホームページの活用と、他の学友会



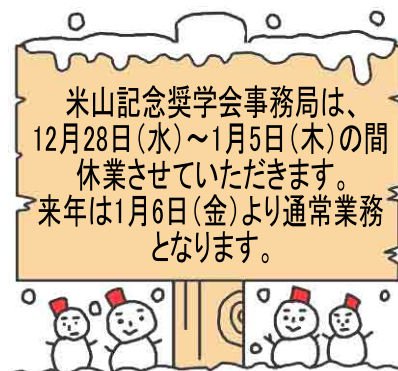
との交流を進める方針も決定しました。会員の多くが大学の教授、教員ということもあり、続く忘年会では、自己紹介とともに学友たちから多様な留学経験と研究内容が聞かれ、会場の随所で感嘆の声が上がりました。会長の柳京子さん（1981-83／北茨城RC）は、「来年はもっと活発な韓国学友会を目指して、いろいろな計画を立てています」と、今後の抱負を語りました。

税制上の優遇措置について

ロータリー米山記念奨学会へ寄付（特別寄付・普通寄付）をすると、**所得税の税制優遇**が受けられます（要確定申告）。年間2,000円以上の特別寄付をした方は、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12月30日（金）入金分までが対象**です。また、普通寄付分の申告用領収書は、申請のあったクラブのみ、特別寄付分に同封して送付します。

編集後記

今年も1年間お読みいただきありがとうございました。3月11日以降、日本中が衝撃を受けて混乱するなか、次々と届く学友からの支援やメッセージにどれほど励まされたことでしょう。改めてこの奨学事業の意義を実感しています。来年は被災地の皆さまにとって希望の光が見える年となりますように。



米山記念奨学会事務局は、
12月28日（水）～1月5日（木）の間
休業させていただきます。
来年は1月6日（金）より通常業務
となります。

平成 23 年 12 月 22 日

ガバナー 各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 新藤 信之

拝 啓

師走の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。このたびは、下記 10 点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬 具

追 伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文 庫 通 信 (292号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 3 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信より

- ◎「クラブ活性化の為の知恵」 大澤徳平 2011 1p (D.2640月信)
- ◎「ロータリーの意味論(3)人間モラトリアム」 久野 薫 2011 4p (D.2680月信)
- ◎「ロータリーの意味論(4)因縁果律」 久野 薫 2011 4p (D.2680月信)
- ◎「ロータリーの意味論(5)犠牲なき奉仕」 久野 薫 2011 4p (D.2680月信)
- ◎「基本」 玉井公詞 2011 1p (D.2650月信)
- ◎「会員増強におもう」 杉本 直 2011 1p (D.2650月信)
- ◎「最近思うこと」 大西省司 2011 1p (D.2650月信)
- ◎「例会は楽しいですか~『職業奉仕について』」 森 玄房 2011 2p (D.2550月信)
- ◎「日々是職業奉仕」 大澤徳平 2011 1p (D.2640月信)
- ◎「10月職業奉仕月間に因んで」 米田眞理子 2011 2p (D.2640月信)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝祭日



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2560

国際ロータリー第 2560 地区 2011-12 年度ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 2-12

TEL: 025-201-7802 FAX: 025-201-7803 E-mail: ishimoto@rid2560niigata.jp

ホームページ URL <http://www.rid2560niigata.jp/>